

恵庭商工会議所
役員・議員並びに会員の皆様へ

恵庭商工会議所

恵庭市内景況（マインド）調査へのご協力のお礼について

毎々、標記調査にご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。つきましては、前回調査の集計結果概要について、以下の通りご報告申し上げます。詳細やご不明な点等がございましたら、商工会議所（Tel 3 4 - 1 1 1 1 : 経営支援課）までお気軽にお問合せください。

サンプル数の状況

調査年月	調査数	回答数	商業	工業	建設業	サービス業
R01. 7月	140	82	17	29	18	18
		【58.6%】	20.7%	35.4%	22.0%	22.0%

(注) ※ DI値（景況判断指数）について

D. I. とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「上昇」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「低下」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

$$DI = (\text{増加} \cdot \text{好転などの回答割合}) - (\text{減少} \cdot \text{悪化などの回答割合})$$

【 業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少) 】

～ 本件に関する

お問い合わせ先 ～

※ 印刷の不鮮明等がございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

〒 061-1444

恵庭市京町80番地

恵庭商工会議所 経営支援課

TEL 34-1111番

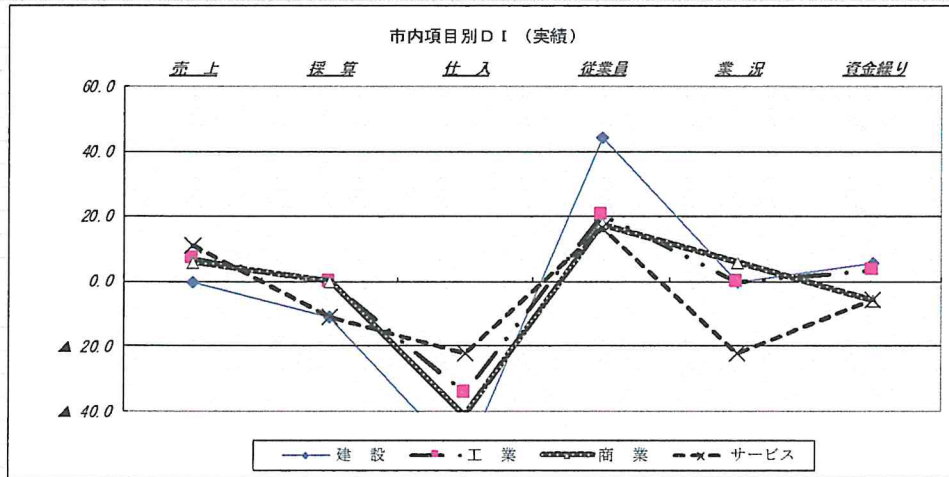
FAX 34-0133番

Eメール

eniwacci@eniwa-cci.or.jp

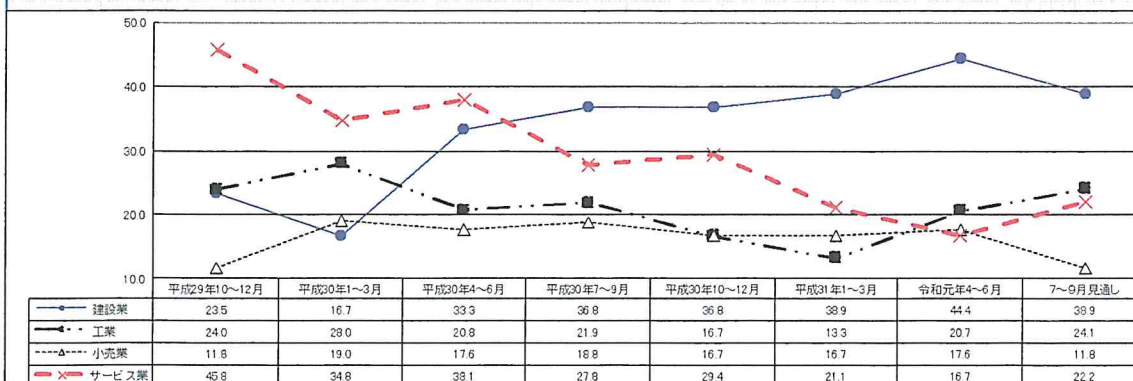
恵庭市内 産業別 DI 4月～6月の実績 項目別・業種別状況

恵庭市内産業別DI(前年同月比実績:令和元年4月～6月)



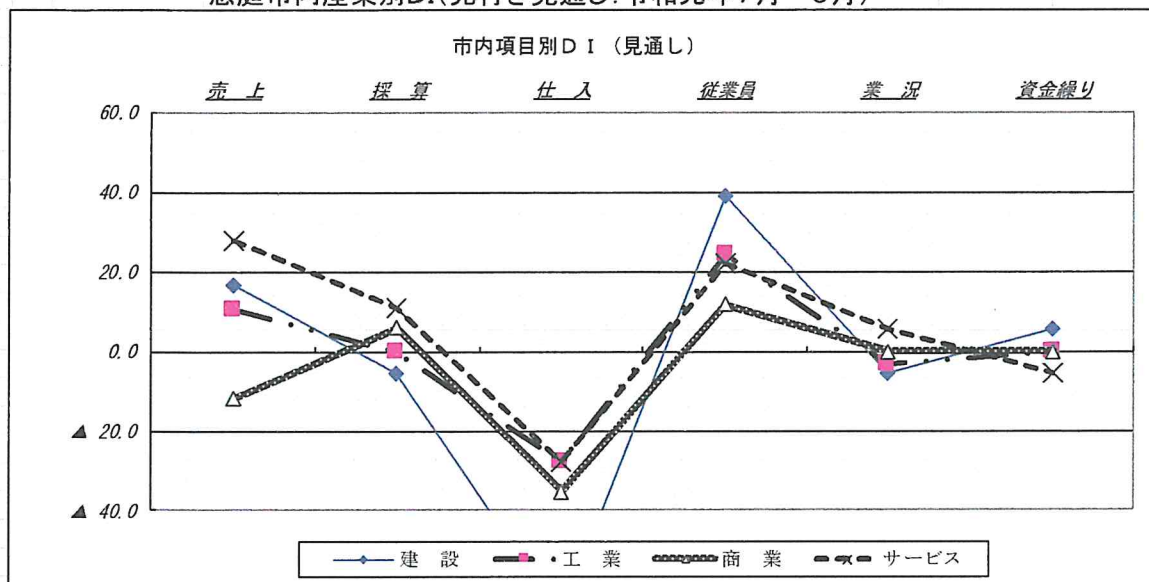
	売上	採算	仕入	従業員	業況	資金繰り
建設	0.0	▲ 11.1	▲ 55.6	44.4	0.0	5.6
工業	6.9	0.0	▲ 34.5	20.7	0.0	3.4
商業	5.9	0.0	▲ 41.2	17.6	5.9	▲ 5.9
サービス	11.1	▲ 11.1	▲ 22.2	16.7	▲ 22.2	▲ 5.6

●従業員の状況の推移(実績:平成29年10月～)



恵庭市内 産業別 DI 7月～9月の見通し 項目別・業種別状況

恵庭市内産業別DI(先行き見通し:令和元年7月～9月)



	売上	採算	仕入	従業員	業況	資金繰り
建設	16.7	▲ 5.6	▲ 66.7	38.9	▲ 5.6	5.6
工業	10.3	0.0	▲ 27.6	24.1	▲ 3.4	0.0
商業	▲ 11.8	5.9	▲ 35.3	11.8	0.0	0.0
サービス	27.8	11.1	▲ 27.8	22.2	5.6	▲ 5.6

～ 自由記述ご回答 ～

《R1年4月～6月の実績：昨年と比べて》

【製造業】

- ・1ラインが改修増設工事のため、不稼働による。2020年2月稼働予定。
- ・原料@UP=売上@UP。親会社との取引のため。
- ・継続工事が堅調なところに加えて、大型物件の受注もあり、第一四半期は大幅な増収・増益とする事ができた。

【卸・小売業】

- ・昨年同期も好調でしたが、今期は前年より18%UPの売上げでした。利益もそれなりのUPとなっています。官庁の発注が見込みより増えたのが、大きな要因です。
- ・連休明けから極端に悪化。
- ・消費税10%前の需要。
- ・天気にも恵まれ、自転車・オートバイの売上げが伸びました。

【サービス業】

- ・働き方改革と従業員確保に、資金と労力を使っています。仕事量は増えていますが、手が回らずお断りするケースも多々あります。外国人労働者の受け入れ方も困難な業界なので、苦しいところです。
- ・昨年6月開業。スタート時に比べ、売上げUP。
- ・カード払いが増加し、現金が減少。入金までのタイムが長いので、現金を別途準備しなくてはならない。
- ・土地不足による売手市場で、地域に縁のある不動産業者に有利な状況となっている。

～ 自由記述ご回答 ～

《R1年7月～9月の見通し：昨年と比べて》

【製造業】

- ・実績のコメントと同様。
- ・前年同期は赤字で推移していたが、今期は受注も順調に進んでおり、第二四半期も黒字を確保できる見通しとなっている。工事関連の受注はどうしても波があるので、一発勝負の体質から脱却できる企業体質を整えていきたい。
- ・前年4～6月期は記録的原料高騰、7～9月は特需要素と極端な動きを示し、来月以降は前年ギャップをどう埋めるかが課題。
- ・大きな変化はない見通し。

【卸・小売業】

- ・現在の受注額が前年同期実績の60%強ですので、前年並みと見込んでいますが、同業他社及び本州の競合会社が、どこまで価格競争を仕掛けてくるかがこわいです。
- ・今後の業況の見通しが見つからない。
- ・増税前のタイミングで、売上げが増加すると考えられる。
- ・消費税10%前の需要。
- ・天気に左右される。従業員については、指導するのに採用しました。

【サービス業】

- ・繁忙期に入るため、現在の従業員の数で上手く回れば、業況は上向きになると思われます。ただ、1年後、2年後と考えると高齢化は否めず、不安材料は多いです。
- ・経営は安定化。患者さん定着し、新規集客中。
- ・夏期は市場が活発であるがゆえ、秋までは、この状況が続くと思われる。